

11 入院患者の転倒・転落発生率

指標の解説

- 転倒・転落件数は、インシデント・アクシデント事例の中で最も多く、各病院では、医療安全対策の取り組みとして、転倒・転落のリスクを的確にアセスメントすることで、発生を予防している。
- 転倒・転落発生率が低い場合には、転倒・転落予防に積極的に取り組み、また、その効果が表れていると評価できる。

分子：入院中患者に発生した転倒・転落件数

分母：入院患者延べ数

参考値：0.281%

分子：医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数

分母：入院延べ患者数

(引用元：一般社団法人日本病院会作成「2014年度QIプロジェクト結果報告」参加病院の平均値)

